

# 少年院出院後の更生保護の一環としての就労支援 ～就労支援講座「魅力発見講座」を3年間して～

社会福祉法人 秀幸福社会（大阪府）

**住 所** 〒 567-0806  
大阪府茨木市庄 2 丁目 7 番 35 号

**T E L** 072-631-5151

**U R L** <http://care-net.biz./27/shouei/com>

**経 営 理 念** 社会福祉法人秀幸福社会は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、またその有する能力に応じた自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的としています。

**事 業 内 容  
及 び 定 員**

- ・特別養護老人ホーム（56名）1か所
- ・短期入所生活介護（20名）1か所
- ・認定こども園（130名・120名・81名）3か所
- ・通所介護（49名・35名）2か所
- ・認知症対応型通所介護（10名・10名）2か所
- ・地域密着型通所介護（12名）1か所
- ・地域包括支援センター
- ・放課後等デイサービス（10名・10名）2か所
- ・相談支援センター
- ・訪問介護2か所
- ・居宅介護支援2か所
- ・多世代交流センター
- ・CSW 配置事業
- ・配食事業
- ・就労継続支援 B 型
- ・地域活動支援センターⅢ型
- ・生活困窮者に対する支援相談事業

**収 入** ①社会福祉事業 1,466,519,734 円

(法人全体) ②公益事業 会計上、上記に含まれる

平成 29 年度決算 ③収益事業 会計上、上記に含まれる

**職 員 数** 252 名（非常勤含む）  
（法人全体）

**当 面 す る  
経 営 課 題**

- ・介護士、保育士の人材の確保、育成。
- ・施設の老朽化に伴う大規模改修等の資金繰り。
- ・事業で使用している車両の老朽化に伴う入れ替え等の資金繰り。

# 「少年院出院後の更生保護の 一環としての就労支援」

～ 就労支援講座「魅力発見講座」を3年間して ～

発表者

社会福祉法人秀幸福社会

庄栄エルダーセンター

CSW 神野 享士

就労支援講座「魅力発見講座」行なってきたて・・・

はじめに・・・

出院、出所後の就労の有無が、再犯率に密接に関連していることが、大きな社会問題となっている。そこで、社会福祉法人の使命として、当法人が、更生保護の一環として取り組んできた仕事の魅力を伝える就労支援講座「魅力発見講座」。

今回、この取り組みにスポットを当ててみた。

就労支援講座「魅力発見講座」行なってきて・・・  
ちなみに・・・

◆有職者・無職者の再犯率  
(平成23～27年の5年間)

・有職者 7.8%      ・無職者 26.1%

なんと、無職者の再犯は、有職者の

**約3倍!!**

\*平成27年矯正統計年報より

就労支援講座「魅力発見講座」行なってきて・・・

## I 研究目的

- ①浪速少年院で、平成26年7月より行ってきた就労支援講座「魅力発見講座」が、在院生にとって有効的なものなのか。
- ②地域住民の方々が刑余者(刑を終えて、出院出所した者)に対して、どういう意識を持っているか。  
などを知り、今後の取り組みに活かすことを目的とする。

就労支援講座「魅力発見講座」行なってきたて・・・

## 「先行研究」

この内容に関しての先行研究はなく、今回が初めてである。

データなどについては、「犯罪白書」や「矯正統計年報」「関連書物」から、引用及び参考にするなどした。

就労支援講座「魅力発見講座」行なってきたて・・・

## Ⅱ 研究方法(アンケート調査)

### ①対象者

- ・当法人が所属している協力雇用主会の同地区少年院の在院生。(平成29年4月～平成29年8月までの在院生)
- ・当法人のCSWが担当している地区の民生児童委員、福祉委員、自治会長など。

就労支援講座「魅力発見講座」行なってきて・・・

## ②方法

◆在院生(延べ180名)に対して、アンケートを実施。  
就労支援講座の前後3回(4,7,8月)実施

◆地域の民生児童委員、福祉委員、自治会長等  
(45名)に対するアンケートを実施。

(当法人のCSWの担当地区)

具体地域:茨木市立東、同白川小学校区域)

1回(平成29年8月)実施。

◆アンケート実施期間:平成29年4月から同年8月

就労支援講座「魅力発見講座」行なってきて・・・

## 「調査に際しての倫理的留意点」

①アンケート実施に際しては、研究の目的についての趣意書を少年院院長宛てに提出し、承諾を得て、取り組む。

②在院生に対しての質問事項については、事前に担当教官と協議し、自由記述の欄も設けていたが、筆跡から少年が特定される恐れがあるとして却下され、全ての設問に対する回答を選択肢で○印を付けてもらった。

就労支援講座「魅力発見講座」行なってきて・・・

## 「アンケートの内容」

### （在院生に対して）

- ・将来の「夢」は、ありますか。
- ・具体的な「夢」は、何ですか。
- ・仕事をしたいですか。
- ・仕事に対する不安はありますか。
- ・どんな仕事を希望しますか。
- ・就労支援講座を受講しての気持ちの変化の有無。
- ・相談できる人は、いますか。 等

就労支援講座「魅力発見講座」行なってきて・・・

## 「アンケートの内容」

### （民生児童委員、福祉委員、自治会長等）

\* 45～82歳の年齢の方が対象

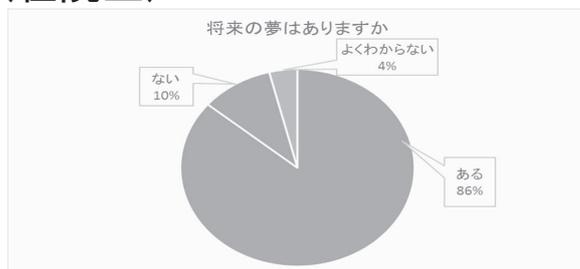
- ・少年院や刑務所を出所した方をどう思いますか。

怖い or 何とも思わない

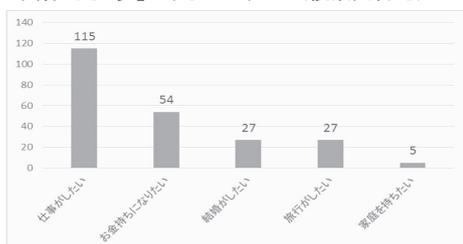
- ・罪を犯してしまうのは、なぜだと思いますか。
- ・犯罪のない街（地域）づくりに大事なものは何だと思いますか。等

## 就労支援講座「魅力発見講座」行なってきて・・・

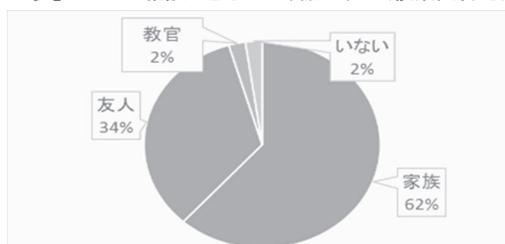
### Ⅲ 結果(在院生)



具体的な「夢」は、なんですか (複数回答可)

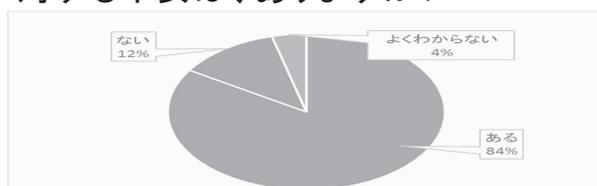


「夢」について相談できる人は、誰ですか(複数回答可)



## 就労支援講座「魅力発見講座」行なってきて・・・

### Ⅲ 結果(出院準備生: 出院を約1ヶ月後に控えた在院生40名) 問) 仕事に対する不安は、ありますか?



問) その不安とは、何ですか?(複数回答可)

- ・続けられるか(45%)
- ・上司や同僚との人間関係(38%)
- ・健康や体力面(24%)

問) 将来、家庭を持ちたいですか?

- ・はい(95%)
- ・いいえ(3%)
- ・わからない(2%)

問) 就労支援講座「魅力発見講座」を受講してどうでしたか?

- ・良かった(96%)
- ・良くなかった(4%)

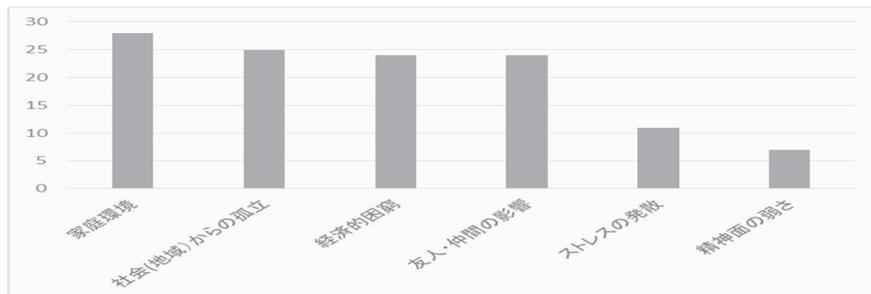
## 就労支援講座「魅力発見講座」行なってきたて・・・

### Ⅲ 結果(民生児童委員、福祉委員、自治会長等)

問) 少年院や刑務所を出所した方をどう思いますか。

- ・怖い(46%)
- ・何とも思わない(54%)

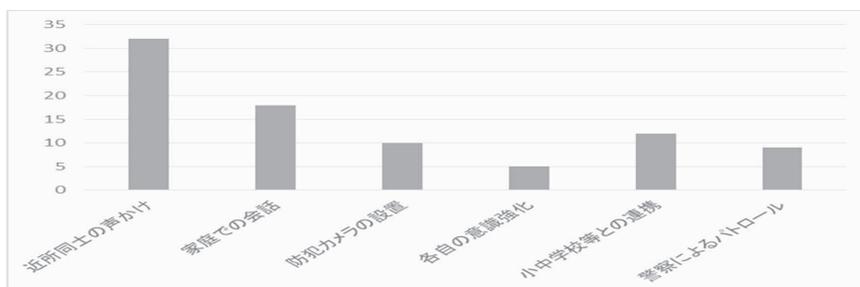
問) 罪を犯してしまうのは、なぜだと思いますか。(人)



## 就労支援講座「魅力発見講座」行なってきたて・・・

### Ⅲ 結果(民生児童委員、福祉委員、自治会長等)

問) 犯罪の無い街(地域)づくりに大事なものは、何だと思いますか?(複数回答可)



- \* 希薄になりつつある「近所同士の声かけ」が、最も有効な手段であると地域の方々は、考えている。

就労支援講座「魅力発見講座」行なってきたて…

#### IV 考察

- ① 在院生は「夢」を抱いているが、卒院が迫るにつれて、不安が大きくなっていく。

仕事に就きたい、家庭を持ちたいなどの具体的な夢を考える一方で、継続して勤められるか、また、入所していた過去がある中で、家庭が持てるかがその理由である。

就労支援講座「魅力発見講座」行なってきたて…

#### IV 考察

- ② 地域の方々は、犯罪を犯す原因は、家庭環境と社会(地域)での孤立であると考えている。

\* 在院生は、夢を相談するのは、「家族」が多い中、地域の方は、「家庭環境が問題」と相反する回答があり、この点については、今後とも追究していきたい。

なぜなら、CSWへの非行に関する相談も、「家庭環境に問題」が多いからである。

就労支援講座「魅力発見講座」行なってきたて…

## V 結論

本研究では、在院生が「夢」を抱きながらも、社会が現実味を帯びて来ると、「不安」が大きくなることがわかった。

当然のことながら、「仕事」に対する不安も同様である。

就労支援講座「魅力発見講座」の受講後は、将来像が描け、具体的には「家庭を持ちたい」という回答が多く寄せられ、夢の実現には、「仕事」が大事であると感じてもらえた。

以上の点から、就労支援講座は有意義なものであり、今後も継続的に関わることの必要性も感じ得た。

また、CSWの役割として、地域の方々がお互いに声を掛けあえる地域づくりと刑余者が戻ってきたときに素直に「お帰り」と素直に言える地域づくりが大事であると改めて感じた。

## 参考文献

- ・「犯罪心理学」2008年 福島 章氏著 PHP研究所発行
- ・「図解雑学犯罪心理学」2001年 細江 達郎氏著 ナツメ社発行
- ・「最新 犯罪心理学」2012年 細江 達郎氏著 ナツメ社発行
- ・「少年事件～大人は何ができるか～」2008年 山崎 晃資氏著  
株式会社 同人社発行